

- V 平成29年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要**
- VI 平成29年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況**
- VII 平成29年度各農業改良普及センタープロジェクト課題一覧**
- VIII 平成29年度普及指導課題対象農業者満足度調査結果の概要**
- IX 平成29年度農業改良普及センター職員名簿**

# V 平成29年度農業普及関係各種表彰事業受賞者概要

## 1 農事功績者表彰

**主催** 公益社団法人 大日本農会

**趣旨** 農業における新しい技術や経営の改善に挑戦し、優れた農業経営を確立するとともに、地域のリーダーとして、技術の導入・普及、産地の形成、青年農業者の育成等、地域に貢献されてきた農業者並びに農業技術の普及・研究開発に寄与された方々に対し、総裁（秋篠宮文仁親王殿下）の御名をもって表彰を行い、賞章等を授与する。

### ◆緑白綬有功章◆

佐々木 郁郎 氏（加美町）

経営部門：複合経営畜産

#### <活動の概要>

所得の安定確保のためにエノキタケを導入し、地元農家やJAと連携してエノキダケの東北一の産地化を実現。稲作組合とエノキダケ組合を統合法人化し、営農体制と販売体制を強化、担い手として地域水田の4割を担う。また、県等と協力し巨大胚米、飼料用米等の生産に取り組み、平成28年飼料用米多収日本一、農林水産大臣賞を受賞した。

地域農業への貢献として、地元の主婦や若手などの多様な人材を雇用。また、長年にわたり農業士として農業後継者などの研修生の受け入れを行い、担い手育成に尽力。このほか、都市農村交流にも取り組み、グリーンツーリズムの礎作りにも貢献している。

## 2 宮城県農林産物品評会

**主催** 宮城県

**趣旨** 農業者の生産意欲の高揚と生産技術の向上を図り、農林産物の生産振興に寄与することを目的とし、県内の生産者から出品された農林産物を審査し、優秀な出品物生産者に対し農林水産大臣賞等を授与し表彰する。

**期日** 平成29年10月14日～15日

**場所** 県庁1階フロア、市民広場前ステージ

### ◎宮城県知事賞

・知事賞1等賞

(敬称略)

部門	品目	市町村	受賞者氏名
普通作物	うるち玄米	登米市	千葉利広
果実	りんご	登米市	猪股剛
〃	なし	蔵王町	山家一彦
根菜類	だいこん	大崎市	高橋純哉
葉茎菜類	ねぎ	東松島市	後藤喜久雄
果菜類	きゅうり	栗原市	佐藤豊
林産物	しいたけ	大和町	浅井修

知事賞2等賞	11名
知事賞3等賞	12名

◎農林水産大臣賞，農林水産省生産局長賞等特別賞受賞者

(敬称略)

区 分	部 門	品 目	市 町 村	受賞者氏名
農 林 水 産 大 臣 賞	米	うるち玄米	登 米 市	千 葉 利 広
	果 実 菜 物	りんご きゅうり 生しいたけ	登 米 市 栗 原 市 大 和 町	猪 股 藤 剛 佐 藤 井 豊 浅 井 修
農 林 水 産 省 生 産 局 長 賞	果 実 菜 物	な し ぎ ね	蔵 王 町 東 松 島 市	山 家 一 彦 後 藤 喜 久 雄
農 林 水 産 省 政 策 統 括 官 賞	米	うるち玄米	登 米 市	加 美 山 徳 久
農 林 水 産 省 林 野 庁 長 官 賞	林 産 物	生しいたけ	大 崎 市	佐 々 木 郭
宮 城 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会 長 賞	米	うるち玄米	村 田 町	渡 邊 長 松
公 益 社 団 法 人 み や ぎ 農 業 振 興 公 社 理 事 長 賞	米	うるち玄米	気 仙 沼 市	芳 賀 一 充
宮 城 県 園 芸 協 会 会 長 理 事 賞	果 実 菜 物	りんご だいこん キャベツ トマト	蔵 王 町 大 崎 市 登 米 市 石 巻 市	佐 藤 直 樹 高 橋 純 哉 及 川 義 人 本 藤 安 雄
	林 産 物	生しいたけ	大 崎 市	千 葉 敏 恵
宮 城 県 食 用 茸 協 同 組 合 理 事 長 賞	林 産 物	木 炭	南 三 陸 町	佐 藤 勇
宮 城 県 森 林 組 合 連 合 会 長 賞	林 産 物	生しいたけ	仙 台 市 青 葉 区	安 藤 雄 一
宮 城 県 特 用 林 産 振 興 会 長 賞	林 産 物	生しいたけ	登 米 市	高 橋 龍 朗

### 3 宮城県花き品評会

**主 催** 宮城県花と緑普及促進協議会，宮城県

**趣 旨** 宮城県の花き生産技術の向上及び生産意欲の喚起を図り，市場評価の向上及び消費者等の理解を深めることを目的とし，県内の生産者から出品された花きを審査し，優秀な出品物生産者に対し農林水産大臣賞等を授与し表彰する。

**期 日** 平成29年10月14日～15日

**場 所** 県庁1階フロア，市民広場前ステージ

◎農林水産大臣賞，農林水産省生産局長賞等特別賞受賞者

(敬称略)

受 賞 名 称	品 目	市 町 村	受賞者氏名
農 林 水 産 大 臣 賞	輪 ぎ く	亘 理 町	小 野 幸 夫
農 林 水 産 省 生 産 局 長 賞	ポ ッ ト マ ム	柴 田 町	加 納 厚 志
東 北 農 政 局 長 賞	ガ ー デ ン シ ク ラ メ ン	石 巻 市	佐 藤 昇 昇
宮 城 県 知 事 賞	輪 ぎ く	南 三 陸 町	遠 藤 吉 司
宮 城 県 議 会 議 長 賞	ス プ レ ー ば ら	加 美 町	鈴 木 義 英
仙 台 市 長 賞	シ ク ラ メ ン	仙 台 市	後 藤 和 人
宮 城 県 園 芸 協 会 会 長 理 事 賞	葉 ボ タ ン	丸 森 町	はるはなファーム(株)
全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会 宮 城 県 本 部 長 賞	パ ン ジ ー	栗 原 市	岩 淵 光 男
宮 城 県 花 卉 商 業 協 同 組 合 理 事 長 賞	ト ル コ ギ キ ョ ウ	柴 田 町	大 宮 健
仙 台 中 央 卸 売 市 場 花 卉 仲 卸 協 同 組 合 理 事 長 賞	ガ ー ベ ラ	石 巻 市	和 泉 清 明
仙 台 生 花 (株) 代 表 取 締 役 賞	ス プ レ ー ば ら	加 美 町	鈴 木 義 英
(株) 仙 花 代 表 取 締 役 社 長 賞	輪 ぎ く	南 三 陸 町	遠 藤 吉 司
(株) 石 巻 花 卉 園 芸 代 表 取 締 役 社 長 賞	ガ ー ベ ラ	石 巻 市	和 泉 清 明

※上記受賞者は金賞として宮城県花と緑普及促進協議会会長賞を受賞，ほか銀賞として20名が受賞

## 4

## 農業・農村活性化女性グループ等表彰

**主催** 宮城県

**趣旨** 女性の力を生かして農業・農村の活性化を実践しているグループ及び個人を表彰し、広く紹介することにより、農業者はもとより農業後継者や県民にとっても魅力ある農業・農村を創造しようとするもの。

◆地域社会参画部門◆ 最優秀賞 佐竹きみ子 氏（栗原市）

<活動の概要>

昭和45年の結婚を機に就農し、同年に「照越改善クラブ」に参加、梅干しや味噌などの加工に取り組む。平成3年に欧州むらめぐりに参加。ヨーロッパのゆとりある生活に感銘を受け郷土食の伝承や食育に意識を持つ。J A 栗っこ米粉料理研究会の会長として米粉料理の普及に貢献する。

平成20年から男女共同参画を推進するため「男女共同参画キャラバン隊」を結成、市や市議会、農業協同組合に対し、男女共同参画実現に関する提案を行い、結果、本人を含め3人が女性農業委員に推薦される。

女性農業委員として、「女性農業者の集い」など様々な企画を提案するとともに、他の女性農業委員と協力し積極的に活動を展開してきた。平成28年度には、これらの活動が評価され、栗原市農業委員会として農山漁村男女共同参画優良活動表彰において農林水産大臣賞を受賞した。

また、女性農業者として積極的に地域社会活動で参加する姿勢や女性リーダーの後継者を育成の取り組みが高く評価されている。

◆地域社会参画部門◆ 最優秀賞 相原 榮子 氏（仙台市）

<活動の概要>

仙台六郷地区の農村生活研究グループ「日辺あゆみ会」に入会。グループの一員として地場産野菜を使った料理教室の開催やイベントでの直売活動などに取り組んできたほか、地域の環境美化活動や市に対し女性農業者のヨーロッパ派遣の働きかけ等も行ってきた。「日辺あゆみ会」は平成21年度農山漁村女性チャレンジ活動支援表彰経済局長賞を受賞した。

平成17年から宮城県生活研究グループ連絡協議会の会長として農村女性のリーダー的立場として活躍するとともに、平成18年からは指導農業者として農業大学校生の研修受け入れなど農業後継者の育成に尽力してきた。

当時めずらしかった西洋野菜の生産に地域でいち早く取り組み、マスコミなどに取り上げられるなど地域のPRにも貢献。現在は「みやぎ食育シニアコーディネーター」として西洋野菜や仙台伝統野菜などの普及を通して食育活動や地域の情報発信を行うなど、農業の理解促進や農業振興への貢献が高く評価されている。

◆地域社会参画部門◆ 最優秀賞 及川さよ子 氏（登米市）

<活動の概要>

兼業農家に生まれ、会社勤めをしていたが、昭和61年に専業農家の夫と結婚後、夫とのパートナーシップのもと、本格的に農業に従事する。農業大学校の学生や自治体職員の研修を積極的に受け入れながら、自分も栽培技術や簿記記帳を学ぶ。結婚当初から積極的に農業や地域活動へ参加。平成21年に男性のみの活動が主であったきゅうり部会に婦人部の創設を要望。「なかだきゅうり出荷部会婦人部会」の活動を開始する。

後継者も就農のタイミングで家族経営協定を再締結し、役割分担を明確にするなど、後継者の就農をバツ

クアアップする。

登米市農業委員や人権擁護委員、アグリレディーズネットとめ代表など、農業分野に限らず様々な活動に参加、女性の視点から様々な提言を行うとともに、生産者団体における婦人部会の活動の充実、産地育成を担う女性の立場の向上などの取り組みが高く評価されている。

### ◆地域社会参画部門◆ 優秀賞 佐々木みさ子 氏（涌谷町）

#### <活動の概要>

平成11年に農産加工グループ「二輪草の会」を結成し、町内の産直施設の設定に関わる。地区生活研究クラブ連絡協議会の会長を経て、宮城県生活研究グループ連絡協議会会長に就任し、農村女性の地位向上や活躍に貢献。女性農業者として農業委員、JA理事、指導農業士など様々な役職を歴任し、町や県の政策決定にも参加するなど、女性農業者の社会参画のモデルとして評価されている。

### ◆地域社会参画部門◆ 優秀賞 柴田町女性地場産振興会（柴田町）

#### <活動の概要>

町内にあった女性農業者組織の解散を受け、新たに平成15年に加工販売等に取り組むための女性により結成された協議会。

先進地視察や料理講習会等を行い、消費者のニーズにあった農家レストランのメニューや農産加工品の技術向上を図る。この協議会で学んだ会員が、町内の直売所や農家レストランの構成員となり、商品の販売等をおとして地域や生産されている農産物等のPRに貢献している。

農村地域において活躍する女性の学びの場として、また地域の活性化に貢献する取り組みが評価されている。

## 5 第48回東北農業青年会議岩手大会

**主催** 東北農業青年クラブ連絡協議会、岩手県農業青年クラブ連絡協議会

**趣旨** 次代の日本農業を担う全国の農業青年が一堂に会し、その知識や技術を相互に交換しながら、東北の仲間との交流・友情を深め、21世紀農業の担い手としての自信と誇りを培うとともに、社会全体への農業理解の促進に資することを目的とする。

**期日** 平成29年11月1日～2日

**場所** 花巻南温泉峡ホテル志戸平（岩手県花巻市）

#### 【意見発表の部】

◎最優秀賞：宮城県知事賞 阿部善光氏（登米地区連）

課題名：「挑戦～I'm Ready!! Do my Best!!～」

発表要旨：私は、就農4年目で宮城県の北部、登米市南方で家族とともに米と野菜をつくっている。

農業大学校を卒業後、海外農業研修に参加し、1年7か月アメリカ合衆国カリフォルニア州で大規模農業経営を実際に働きながら勉強してきた。

現在、人や物が国境を越えて行きかうグローバルな時代になってきた。これからの農業は海外とも競争しなければいけないと感じた。

就農4年目となる今年、自身の農業経営を見直し、生産性の向上・新規雇用・食品安全・販路拡大を行うため、GAP認証の取得を目指している。また、若手農業者のネットワークづくりと交流事業を開催したい。若い農業者が技術や情報をお互いに交換できるネットワークづくりや、幼稚園児や留学生との交流事業を行おうと考えている。



これらの新たな取り組みをするにあたって、課題や問題は出てくる。失敗もすることもある。しかし、国際競争で生き残るには準備をして、挑戦していかなければいけない。

わたしはこの2つ「GAP認証取得」「若手農業者のネットワークづくりと交流事業」を登米4Hクラブの仲間と普及センターの先生方と一緒に進めていく。

## 6

### 宮城県農村教育青年会議

**共催** 宮城県、宮城県農村青少年クラブ連絡協議会、公益社団法人みやぎ農業振興公社

**趣旨** 地域農業の中核として日頃農業の改良と生活の改善に努めている青年農業者が、4Hクラブ活動を通じて得た成果を互いに情報交換し、当面する問題の解決方法を探るとともに、新しい農業と農村の発展方向を見いだす。

**期日** 平成30年2月3日

**場所** エスポールみやぎ（仙台市宮城野区）

#### 【プロジェクト発表】

◎最優秀賞：宮城県知事賞 佐藤辰哉氏（大崎地区連）

課題名：「夏秋春菊の収量・品質の向上と作型の検討」

発表要旨：秋冬の作型が一般的な春菊だが、夏場の需要もあることに着目し、直播で1株当たりの重さを確保するのが困難だったことから、収量と品質の向上を目的として移植での栽培を検討した。プロジェクトの目標は夏季期間の移植栽培で収量が増加することである。

課題解決のための計画・手法としては、定植で親芯を太くして栽培期間を延ばし、二回取りを行い、作型を比較して播種時期や栽培期間を調査し、適正時期の見極めと栽培方法を選択する。

結果としては、移植は収量、品質共に良かった。二回取りは可能で増収が見込まれるが、病害虫の影響や株が徒長する高温期での長期栽培は困難だった。

考察として、夜温の低い春先までは移植栽培を行い収量増加を狙えるが、時期に適した栽培方法の検討が必要である。また、育苗スペースの確保と労力を必要とするため、ほ場の回転率と作業性は直播の方が優れていた。よって、移植と直播を組み合わせた作型が有効であることが分かった。

今後は同一年度内での作型ごとの比較と、新たに品種の比較試験を行っていく。また、夏季期間での適切な栽培と適期での収穫を行うために、秋冬栽培にウェイトを置いた体系を確立する。

#### 【農村青年の主張】

◎最優秀賞：宮城県知事賞 相澤恵理氏（登米地区連）

課題名：私は成長したい【種から芽を】

発表要旨：私は宮城県名取市で生まれ、小さい頃にお母さんと一緒に家庭菜園をしていた。小さい種から芽が出ておいしい野菜や果物になる姿を見て感動し、農業を身近に触れ合うことができ興味を持った。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では地震と津波で住んでいる町や高校も被害にあった。農業高校でイチゴを勉強していたが、中途半端になってしまった。農業大学校に進学後、ロックワールによるバラの水耕栽培を間近に見て、バラの美しさに惹かれた。

卒業後は、登米市米山町の有限会社おっとちグリーンステーションに就職し、パウダー加工の小松菜を栽培している。

4Hクラブと出会い、クラブ員の「農業だから働きたい」という高い意識が私を変えてくれた。「農業で食べていけるのか?」「人の下で働くだけでいいのか?」という想いで次のステップに後押ししてくれた。

会社から勧められた「アグリビジネス企業家育成塾」では、経営者だったらどんなふう経営していくのか?どうやって従業員を確保して、気持ちよく働いてもらえるためには?ということ考えた。

まだまだ経験不足の私だが、今の職場で社長や先輩方から指導していただき、一人前の農家になりたい。今は小さな種私だが、知識や経験などを経て芽を出していきたい。

そして、いつか登米市で大きく成長した姿をみんなに見てもらいたい。私は成長したい。今もこれからも。

## VI 平成29年度農業改良普及事業関係主要行事実施状況

- (1) 行事名 宮城県農業士退任者感謝状贈呈式及び認定証交付式  
会 期 平成29年6月20日  
場 所 宮城県庁2階 講堂  
主 催 宮城県  
内 容 退任者への感謝状贈呈, 新規認定者への認定証交付
- (2) 行事名 平成29年度普及指導員調査研究検討会  
会 期 平成29年7月13日  
場 所 大崎合同庁舎  
内 容 調査研究の成果の発表, 協同農業普及事業について
- (3) 行事名 平成29年度宮城県農村青年のつどい(第63回宮城県農村青少年技術交換大会)  
会 期 平成29年7月29・30日  
場 所 石巻市内  
主 催 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会, 宮城県, (公社)みやぎ農業振興公社  
内 容 農業技術競技, レクリエーション, 現地研修
- (4) 行事名 宮城県農林産物品評会  
会 期 平成29年10月14・15日  
場 所 宮城県庁1階フロア・市民広場前ステージ  
主 催 宮城県  
内 容 県内優秀農林産物の展示及び表彰
- (5) 行事名 2018農山漁村パートナーシップ推進宮城県大会(平成29年度農山漁村女性の日宮城県大会)  
会 期 平成30年2月1日  
場 所 東北大学川内萩ホール  
主 催 宮城県  
共 催 宮城県生活研究グループ連絡協議会, JAみやぎ女性組織協議会, 宮城県漁協 女性部連絡協議会, みやぎアグリレディス21  
内 容 講演, 農業・農村活性化女性グループ等表彰式, 農山漁村女性の活動発表
- (6) 行事名 平成29年度宮城県農村教育青年会議  
会 期 平成30年2月3日  
場 所 仙台市 エスポールみやぎ  
主 催 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会  
共 催 宮城県, (公社)みやぎ農業振興公社  
内 容 プロジェクト発表・農村青年の主張 他
- (7) 行事名 第39回宮城県農業普及活動検討委員会  
会 期 平成30年2月16日  
場 所 宮城県自治会館209会議室  
内 容 宮城県の農業改良普及事業の推進について
- (8) 行事名 平成29年度農業普及・試験研究連携活動研究会  
会 期 平成30年2月23日  
場 所 宮城県自治会館  
内 容 平成29年度普及活動実績, 国主催研修報告(伝達研修), 試験研究技術移転 発表他

# VII 平成29年度 各農業改良普及センターのプロジェクト課題一覧表

No.	普及センター	課題名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
1	大河原 1	園芸部門の拡大による収益性向上を目指す集落営農法人の育成 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H28～30	(農) 館島田生産組合役員7人(角田市)	地域農業第一班	◎田中, 大友, 佐藤(志), 丹野
2	大河原 2	水田乾田直播栽培の生産性向上による効率的な水田営農の実現 <「中間管理事業」関連課題>	H28～29	仙南水稲直播技術勉強会4経営体 (丸森町認定農家1人, 角田市認定農家1人, 村田町認定農家2人)	先進技術第一班	◎齋藤, 高橋, 佐藤(一), 六戸
3	大河原 3	新たな特産野菜づくりを通じた白石市農産物直売所施設の活性化	H28～29	小十郎の郷農産物出荷者30人(白石市)	地域農業第一班	◎大森, 原田, 佐藤(浩), 大場
4	大河原 4	町内実需者に向けた地元特産農産物の生産振興	H28～29	蔵王町生産農家, 生産法人25経営体 (加工野菜: 里芋など)	地域農業第二班	◎高田, 須藤, 佐藤(浩), 金澤
5	大河原 5	土地利用型園芸作物への機械化体系導入による産地育成	H28～29	JAみやぎ仙南川崎町ブロックリー部会 7人(川崎町)	先進技術第二班	◎稲生, 佐々木, 佐藤(一), 佐藤(志)
6	大河原 6	適期の病害対策によるなし産地の復興	H29	J Aみやぎ仙南蔵王地区なし部会70人	先進技術第二班	◎村上, 菊地, 大森, 大場
7	亘理 1	土地利用型作物を主体とした大規模モデル経営体の育成 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題> ※農業革新支援専門員重点プロジェクト	H29～30	(農) 玉浦南部生産組合(岩沼市) (農) 林ライス(岩沼市)	地域農業班	◎高橋(晋), 高橋(富), 山田, 大鷲, 伊藤, 武田, 農業革新支援 専門員
8	亘理 2	いちご団地の特性を活かした収益性向上と産地強化 <「魅力ある農業」関連課題>	H28～29	先進的技術に取り組むいちご団地内栽培 農家48人(亘理町, 山元町)	先進技術班	◎菅野, 蘇武, 伊藤, 遠藤, 相花
9	亘理 3	復旧農地等における早期安定生産技術の確立 <「魅力ある農業」関連課題>	H28～29	(農) 名取北釜ファーム(名取市) (株) やまもとファームみらい野(山元町)	先進技術班	◎相花, 蘇武, 高橋(晋), 阪本
10	亘理 4	地域と連携した新たな6次産業化の取り組み推進 <「魅力ある農業」関連課題>	H29～30	(株) 今慶農場(名取市)	先進技術班	◎大鷲, 蘇武, 山田, 庄子, 佐藤
11	亘理 5	新規参入者等の資質向上支援による経営安定化の推進	H28～29	就農施設等資金及び青年就農給付金(経営開始型)の受給者5人及び就農希望者	地域農業班	◎庄子, 高橋(富), 高橋(晋), 遠藤, 鈴木
12	仙台 1	集落営農100ha法人の鉄人化計画の推進 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題> ※農業革新支援専門員重点プロジェクト	H27～29	(農) 井土生産組合理事8人(仙台市)	地域農業班	◎鈴木(智), 守屋, 長田, 鈴木(康), 高橋, 小田中, 農業革新支援 専門員
13	仙台 2	仙台東部における土地利用型農業法人の経営体質の強化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29～30	(農) ファーム七ヶ浜(七ヶ浜町) (農) グリーンファーム松島(松島町) (農) 岩切生産組合, (農) 六郷南部実践組合, (農) せんだいあらはま(仙台市)	先進技術第二班	◎高橋, 泉澤, 佐藤(郁), 丹野, 長田, 鈴木(康), 服部



No.	普及センター	課 題 名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
14	仙 台 3	中山間地域の農業を担う新設法人の体制整備	H29	(有) あきう生産組合 (仙台市)	先進技術第二班	◎齋藤, 佐藤 (郁), 鈴木 (智), 早坂, 服部, 小田中
15	仙 台 4	曲がりねぎ販売1億円を目指す野菜指定産地の育成	H27~29	J A あさひなねぎ部会部会員88人	先進技術第一班	◎笹原, 井上, 大河原, 飯沼, 早坂
16	仙 台 5	安定供給が可能なブルーベリー産地及び新たな果樹産地の育成	H28~30	黒川郡ブルーベリー生産者 (うち改植, 新植実施者6人) 黒川ぶどう生産者 (うち主要生産者5人)	先進技術第一班	◎上野, 佐藤 (昌), 佐藤 (秀), 飯沼, 早坂
17	仙 台 6	就農計画の早期達成による新規就農者の定着促進	H27~29	認定就農者 (知事認定) 3人 認定新規就農者 (市町村長認定) 5人 新規就農者 (青年就農給付金受給者等) 3人 ※就農1~3年目まで	地 域 農 業 班	◎大河原, 佐藤 (秀), 笹原, 上野
18	大 崎 1	集落営農モデル経営体の経営強化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29	東鹿原営農組合 (50戸のうち役員7人)	地 域 農 業 班	◎小林, 齋藤, 長谷部, 石川
19	大 崎 2	地域農業を支える集落営農組織の経営強化 <「中間管理事業」関連課題>	H28~29	(農) グリーン・アース大原 (色麻町) (旧大原集落営農組合)	地 域 農 業 班	◎石川, 豊島, 小野寺
20	大 崎 3	機械化一貫体系定着によるたまねぎの生産力向上	H28~29	J A 加美よつば玉葱部会44人	先 進 技 術 班	◎小野寺, 伊藤, 水戸
21	大 崎 4	水稻種子生産における周辺環境対策と管理体制の構築	H29~30	いわでやま水稻採取組合 一粟・岩出山地区組合 (17人)	先 進 技 術 班	◎内海, 松原, 門間, 石原, 増田
22	大 崎 5	高品質で安定した大豆栽培技術の確立医	H28~29	桜ノ目アグリサービス4人 (大崎市)	先 進 技 術 班	◎石原, 門間, 内海, 佐々木
23	大 崎 6	飼料自給率向上に向けた加美型TMR供給システムの構築	H28~29	TMR 給与実証農家3人 (仮) J A 加美よつばTMRセンター利用組合	先 進 技 術 班	◎豊島, 渡邊, 増田, 小林
24	大 崎 7	青年農業者の安定した営農に向けた経営力の向上	H29~30	園芸品目を生産する青年農業者5人 (4戸)	地 域 農 業 班	◎増田, 長谷部, 伊藤, 水戸
25	美 里 1	集落営農組織の法人化による担い手の育成 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H28~29	(農) なかしだファーム (大崎市鹿島台) (旧: 中志田営農組合) 大柳集落営農組合 (美里町) 猪岡営農組合 (涌谷町)	地 域 農 業 班	◎平, 横田, 清水, 菊地
26	美 里 2	「北浦梨」安定生産に向けた栽培管理の徹底とジョイント栽培の普及拡大	H27~29	ジョイント栽培志向農家10人 (美里町)	先 進 技 術 班	◎小島, 辻, 後藤, 渡邊
27	美 里 3	主要葉菜類の安定生産のための難防除病害虫対策支援	H28~29	J A みどりの小ねぎ部会員2人 J A みどりのみず菜部会員1人 J A みどりのほうれん草部会員1人 青ねぎ生産者2人	先 進 技 術 班	◎狐塚, 菊地, 千葉
28	美 里 4	大豆の収量向上による土地利用型経営の安定支援	H28~29	上町営農組合 脇営農組合 (農) 吉住米麦短台生産組合 (農) 涌谷東 (涌谷町)	先 進 技 術 班	◎高橋, 遠藤, 千葉
29	美 里 5	地域農業を担う新規就農者の経営改善と自立支援	H28~29	認定新規就農者 (園芸3人, 畜産1人)	地 域 農 業 班	◎清水, 狐塚, 辻, 高橋, 佐藤

No.	普及センター	課題名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
30	栗原1	土地利用型大規模経営体の育成による地域農業の活性化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題> ※農業革新支援専門員プロジェクト	H27～29	(有)川口グリーンセンター (栗原市一迫地区)	先進技術班	◎渡邊, 門脇, 三上, 小野寺, 安藤, 農業革新 支援専門員
31	栗原2	新技術導入による大豆の収量・品質の高位安定化	H29～30	(農) i ファーム, 氏家主 (栗原市志波姫地区)	地域農業班	◎安藤, 小室, 三上, 渡邊, 小野
32	栗原3	ズッキーニの安定生産と産地の育成	H28～30	J A 栗っこズッキーニ部会役員 8 人 及び展示係担当 4 人	先進技術班	◎降幡, 佐藤 (聖), 寺島, 佐藤 (英), 佐々木
33	栗原4	地域農業の核となる農産物直売所の魅力アップ	H28～H29	あぐりっこ金成 (金成農産加工施設利用組合47人)	先進技術班	◎佐藤 (英), 庄子, 降幡, 柳澤, 佐々木
34	栗原5	繁殖牛経営に取り組む新規就農者の経営管理技術習得支援	H28～29	繁殖牛経営の認定新規就農者 2 人 (栗原市志波姫地区, 鶯沢地区)	地域農業班	◎小野寺, 菅原, 柳澤, 小野
35	登米1	円滑な次世代継承を目指した法人経営の安定化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29～30	(有)かわつらグリーンサービス (登米市中田) (農) S K 美野里農産 (登米市米山)	地域農業班	◎植松, 大内, 小山, 伊藤, 門間, 小笠原
36	登米2	次代の登米地域を担う新規就農者の定着	H29	概ね就農 1～5 年の若手農業者のうち重点指導対象 5 人 (認定新規就農者: 園芸 2 人, 畜産 3 人)	地域農業班	◎高田, 佐々木 (吉), 小山, 高橋, 目黒, 永田
37	登米3	土地利用型作物の長期的な安定生産に向けた先進的技術の導入と定着	H29～30	豊里転作集団連絡協議会 9 法人 (中央生産組合, 下町生産組合, オグリ生産組合, ニツ谷生産組合, 大曲生産組合, 長根生産組合, TMファーマーズ, 加々巻生産組合, ときなみファーム)	先進技術班	◎酒井, 佐々木 (都), 佐藤, 植松, 門間
38	登米4	きゅうり産地の持続的発展に向けた組織体制強化及び新規就農者等の育成	H29～30	J A みやぎ登米きゅうり生産者連絡協議会役員14人, 新規就農者等13人	先進技術班	◎高橋, 穴戸, 佐藤, 伊藤, 小笠原, 永田
39	石巻1	被災沿岸部の大規模経営体における経営の安定化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29～30	(株) ぱるファーム大曲 (株) めぐいーと (株) サンエイト (農) 奥松島グリーンファーム (東松島市)	地域農業班	◎神崎, 鶴飼, 佐々木, 工藤, 横島, 菊田
40	石巻2	次代を担う大規模土地利用型経営体の育成 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H28～29	(株) 宮城リスタ大川 (石巻市)	先進技術第一班	◎阿部, 佐藤, 鈴木 (剛), 玉置, 遠藤
41	石巻3	先進的園芸経営体の育成 <「魅力ある農業」関連課題>	H28～32	(株) イグナルファーム (株) アグリ・パレット (株) スマイルファーム石巻 (株) デ・リーフェ北上 (石巻市)	先進技術第二班	◎伊藤 (嘉), 佐藤, 神崎, 志賀, 鈴木 (俊), 高橋

No.	普及センター	課題名	計画期間	対象名及び対象者数(波及対象・市町村等)	進行管理担当班	担当者
42	石巻4	先進技術を活用したいちご産地のステップアップ	H29～31	J A いしのまきいちご生産組合(3組合) (株)いちごランド石巻 (株)イグナルファーム (株)アグリ・パレット (株)サンエイト(石巻市, 東松島市)	先進技術第二班	◎志賀, 鶴飼, 伊藤(嘉), 鈴木(俊), 伊藤(修)
43	石巻5	水稻直播栽培の技術定着による稲作経営体の経営強化	H29～30	(有)サンダーファーム牛田 (農)ゆいっこ (農)ビッグベリーランドパートナーシップ (農)たてファーム・和 (有)アグリードなるせ個別経営体 (石巻市, 東松島市)	先進技術第一班	◎横島, 熊谷, 阿部, 工藤, 浅野
44	石巻6	経営の発展段階に応じた農業法人の育成	H29～30	(農)大地大沢 (農)朝日の郷 (農)パラダイスファーム大番所(石巻市)	地域農業班	◎佐々木, 熊谷, 鈴木(剛), 玉置, 菊田
45	気仙沼1	気仙沼階上地域の新たな農業の展開 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29～30	シーサイドファーム(株)(気仙沼市) (階上生産組合, 階上いちご第一, 第二復興組合, 波路上機械利用組合)	地域農業班	◎泉井, 福原, 杉本, 佐藤(直), 庄子, 亀井
46	気仙沼2	集落営農組織の経営体質強化による地域営農体制の構築 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H29～30	西戸川地区営農組合, 在郷営農組合, 廻館営農組合(南三陸町)	地域農業班	◎阿部, 杉本, 佐藤(直), 庄子, 安藤, 亀井
47	気仙沼3	小泉地区の復興を牽引する法人経営体の生産安定化 <「魅力ある農業」「中間管理事業」関連課題>	H28～29	(株)サンフレッシュ小泉農園(気仙沼市)	先進技術班	◎佐藤(郁), 福原, 泉井, 佐藤(直), 杉本, 小野寺
48	気仙沼4	復旧農地でのねぎ安定生産技術の確立 <「魅力ある農業」関連課題>	H29～30	在郷営農組合(大谷営農組合, シーサイドファーム波路上, グリーンファーマーズ宮城(株))(気仙沼市, 南三陸町)	先進技術班	◎福原, 阿部, 泉井, 安藤, 佐藤(郁)
49	気仙沼5	ピーズくらぶの活動安定化による入谷地区の都市と農村の交流活性化	H28～29	ピーズくらぶ6人(南三陸町)	地域農業班	◎庄子, 阿部, 安藤, 亀史, 狩野

# Ⅳ 平成29年度普及指導課題対象農業者満足度調査結果の概要

## <調査方法>

### 1 目的

県内の9つの普及センターごとに地域や農業者の方々を対象として支援ニーズを調査し、今後の農業改良普及事業に反映させるために実施。

### 2 調査時期と方法

○調査時期：平成29年11月～12月

○調査方法：アンケート形式で普及指導員が直接調査票を配布・回収（一部郵送による）。

なお、回収に際しては、個人情報に配慮し、厳封の上回収した。

調査は包括的な結果の把握を目的とし、個人を特定しない方法で実施。

### 3 調査の対象者

○普及指導計画のプロジェクト課題対象農業者とし、今回は215人に対し実施。

○普及センター別は、大河原24人、亘理19人、仙台39人、大崎20人、美里21人、栗原22人、登米15人、石巻22人、気仙沼33人。

### 4 対象者の属性

○調査対象者数215人中、認定農業者は130人。

○所得第1位の部門

稲作80人、麦・大豆20人、野菜67人、畜産14人、花き9人、果樹10人、直売・加工3人、その他9人、回答無し3人。

○年齢構成

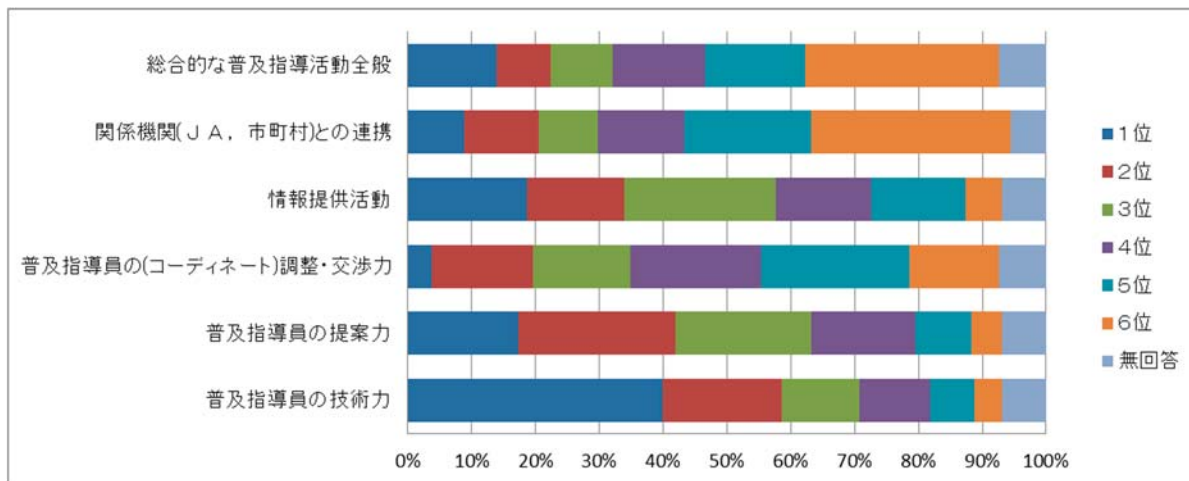
30才以下11人、31～40才19人、41～50才20人、51～60才41人、61才以上122人、回答無し2人。

○経営の形態

個人99人、法人79人、集落営農組織21人、任意組織6人、特定農業団体3人、その他2人、回答無し5人。

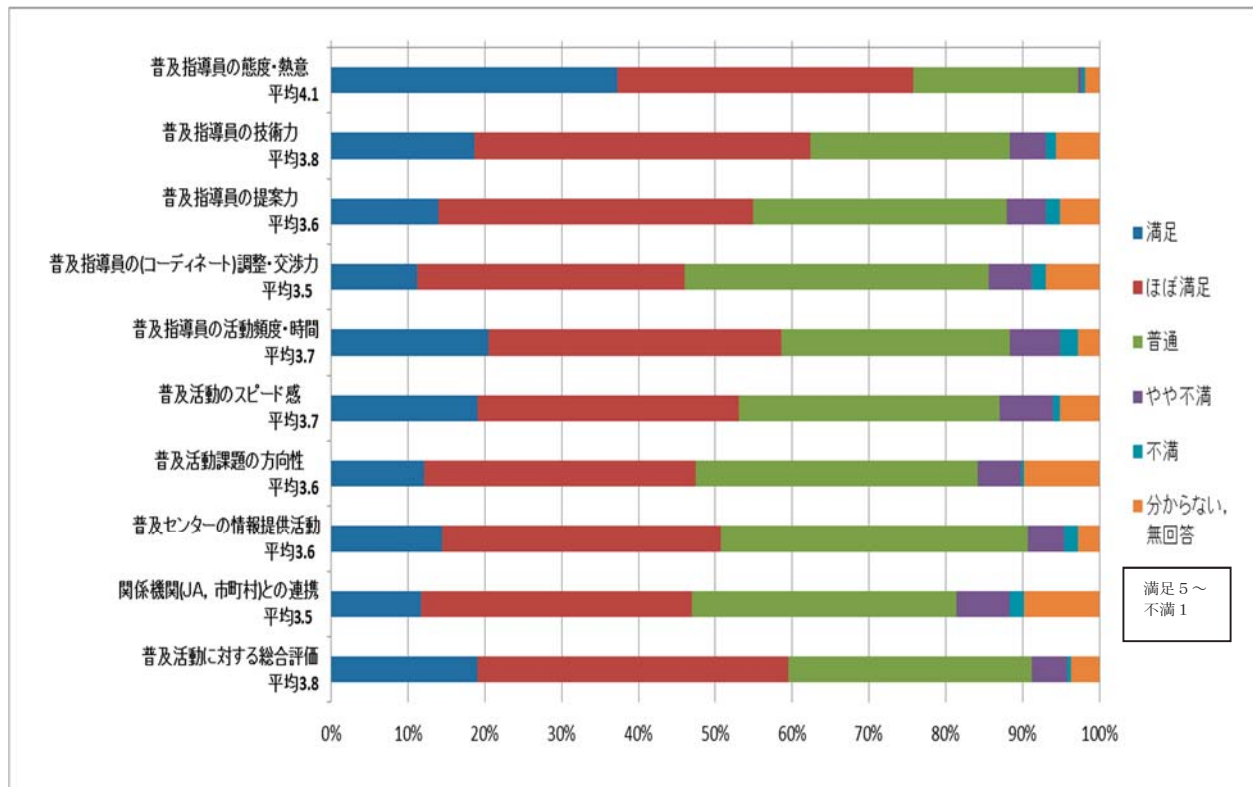
## <調査結果>

### 1 普及指導員に期待する普及指導活動



- 普及指導員に期待する普及指導活動について、1位から6位までの順位を記入してもらった結果、「技術力」を第1位にあげている方が全体の40%と最も多く、第2位と合わせると60%近くの方が期待しているとの結果となった。
- 次に「提案力」と「情報提供活動」が上位となった。
- 普及指導活動の「技術力」「提案力」「情報提供活動」に対し、期待するとの回答は前年と同様であった。

## 2 普及指導員の活動に対する満足度



- 自分の期待に対して実際に受けている普及指導活動について、5段階評定を確認した結果、「普及指導員の態度・熱意」には平均で4.1となり、「満足」「ほぼ満足」の合計では75%となった。
- 一方、「課題の方向性」「関係機関との連携」「調整・交渉力」については、満足、ほぼ満足の合計が50%未満であった。

### <今後の取組>

「普及指導員の態度・熱意」は、農業者の方々の満足が概ね得られているものと判断されるが、期待の高かった「技術力」「提案力」をはじめ、他の項目については、まだまだ改善が必要で、特に「調整・交渉力（コーディネート）」や「関係機関との連携」では満足としている方が少ないことから、OJTや研修等により普及指導員のスキル向上に向けた取組を強化していく。

今後さらに農業者の方々の普及指導活動に関する満足度を高めるため、いただいたご意見等を真摯に受け止め、一層の改善に努めていきます。

調査に御協力いただいた農業者の皆様、ありがとうございました。





普及活動標語

思いを形に、あなたのチャレンジ支えます。応援します。農業普及

ロゴマーク説明

宮城県の農業改良普及事業が農業発展の架け橋となることを願うとともに、  
アグリカルチャーの頭文字『A』をイメージしています。

---

## 明日へのアグリロード2017

---

平成30年5月発行

編集発行 宮城県農林水産部農業振興課  
電話 022(211)2837  
E-mail:nosin@pref.miyagi.lg.jp

---